

代表・一般質問(要旨)

区政を



本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
<https://www.gikai-adachi.jp>

要領に基づき、児童・生徒の発達段階に即して適切に取り扱うよう指導を進める。



国旗の掲揚に対する区の考えは

【問】①以前、区管理職に祝日に国旗を掲げているかを伺った時には、誰もいなかった。その後の実態はどうか。
②区民に対し、祝日に国旗を掲揚するように広報しているのか。また、国旗・国歌法に基づく

用語解説

* 支援対象児童等見守り強化事業…コロナ禍による学校の休業等で児童虐待リスクが高まっていることから、厚生労働省が各自治体に民間団体等と協力して見守り体制を強化することを求めるもの

正しい国旗の掲揚の仕方を区民に教えているのか。
③国旗を掲揚しない区民が多い原因は何か。

【総務】①区職員の国旗掲揚については、職員個々の判断によるものと考えているため、その後の状況は把握していない。
②国旗掲揚及び正式な掲揚方法の広報は特に行っていないが、区民から問い合わせがあれば適宜案内している。
③国旗掲揚を行わない原因は区民の意識調査を行っていないので正確には把握できない。
なお、国旗は国を標示し、国民が敬意を表するものであるが、国旗掲揚は区民の判断により行ってもらいたいと考える。

足立区議会 公明党

誰も取り残さないSDGsの視点での区政運営を!!

公明党 さの 智恵子 議員



コロナ禍の不安に寄り添いを

【問】新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、今後、倒産・廃業や失業を防ぐために、どの様に取り組むのか。

【区長】状況をつぶさに把握し、必要なタイミングで、スピード感を持って今後も対応を図っていく。議員の皆さんと、車の両輪として必要な対策を今後とも継続していきたい。

現状把握で避難行動の支援を

【問】要支援者の現状を把握し避難行動を支援するため、高齢者施設、障がい福祉施設と連携し、各施設が持つ利用者の要支

保護児童対策地域協議会が中核

となり、支援対象児童等の状況を電話等で定期的に確認しているが、今後は民間にどの様に協力を求め、見守りの体制を強化するのか。
②コロナの影響で訪問できなかった場合に、オンラインで本人の状況を把握する等、工夫した見守りも必要だがどうか。

【げんき】①対象児童の安全確認が最も重要である。相談員による直接の安全確認を原則とするが、今後は民間団体等による間接的な安全確認も補助的な確認方法として導入していく。
②他自治体の取組事例も踏まえ、オンラインによる確認等、どのような方法が可能か検討していく。

在宅生活支援と外出機会確保を

【問】高齢者サービスの紙おむつ支給事業の昨年度実績は約1万6千500件となり、さらなる需要が見込まれる。令和3年度より、介護保険会計から、区的一般会計ですべて支出することにあり、その時期に要介護等の要件も含め、抜本的見直しを検討すると聞く。要件を緩和し、対象者を拡充すべきと強く要望するが見解を伺う。

【福祉】非課税世帯とする課税基準を継続しつつ、要介護3以上としている介護度要件を要介護2まで引き下げ、対象者拡充の方向で検討している。年内に見直し範囲を決定予定である。

適切な時期に定期予防接種を

【問】子どもの予防接種を控える保護者の中には、自粛と通院によるコロナ感染への不安があると聞く。医療機関が感染防止策に努めていることを区あ

環境省と経済産業省が

合同で、9月1日に「今後のプラスチック資源循環の基本的方向性」を示した。区も分別の変更の大きな課題はあるが、基本的には、国の方向性に沿ったプラスチック類のリサイクルを目指すべきと考える。

循環型社会の構築に向けて

【問】現在当区を含め、23区中11区はプラスチックごみを可燃ごみとして焼却しているが、今後、さらなる環境への負荷の少ない施策に取り組むべきである。サマールリサイクルのあり方等、どのような方向性で取り組むのか。

温暖化対策を更に進めよ! 興野・本木地域の整備推進

公明党 小泉 ひろし 議員



さらなるCO2排出削減を目指して

【問】①区は、年間排出量を2030年度までに2013年度比35%削減する目標をたて、削減に努めてきたが、2017年度までの実績は13.9%の削減に留まる。どの様に考えているのか。
②新たなノウハウを取り入れ、ハイレベルのCO2排出削減と温暖化対策を目指すべきだが何う。
③志布志市では、紙おむつ再資源化処理の実証実験を行っている。区も、まずは高齢者・保育施設等で回収し、リサイクル事業者とモデル実施してはどうか。

【環境】①排出量は、減少傾向だが、今後は不透明であるため、引き続き積極的に取り組む。
②最新技術導入等も必要と考えられるため、様々な角度から、より高度な取り組みを検討する。

* サマールリサイクル…廃棄物を単に焼却処理するだけでなく、焼却の際に発生するエネルギーを回収・利用すること

【環境】環境省と経済産業省が合同で、9月1日に「今後のプラスチック資源循環の基本的方向性」を示した。区も分別の変更の大きな課題はあるが、基本的には、国の方向性に沿ったプラスチック類のリサイクルを目指すべきと考える。



子ども達の学力向上対策と北部地域の課題について!

公明党 くぼた 美幸 議員



【問】あだち小学生夏休み学習教室や中1夏季勉強合宿等は、コロナ禍にて学校の夏季休業の短縮で中止となった。この事業に本来参加予定の児童・生徒の学力向上対策として、今年度はどの様に取り組むのか何う。
【教育指導】現在、区オリジナ

ルの教材である「次へのステップ」等を活用し、特に中学1年生は、中1夏季勉強合宿で用いる予定であった教材も使い、朝や放課後等で補習を行っている。今後は、区学力調査を利用した個々のつまずきの箇所の把握も可能となるため、これを活用してより効果的な補習につなげる。

